

木津川市

第20号

議会だより



ピカピカのスタート

(木津小学校入学式)

来たれ！

議会報告会

本会議	2・3	組合議会報告	12・13
議員提案・臨時会	4	議会報告会他	14
採決結果	5	会派代表質問	15～19
予算特別委員会	6・7	一般質問	20～27
補正予算特別委員会	8	広報委員会	27
常任委員会	9～11	わたしの意見	28
清掃センター建設特別委員会	12		

5月26日(土)

13:30～15:30 市役所
19:30～21:30 相楽台小学校
アスピアやましろ

5月27日(日)

13:30～15:30 関西光科学研究所
19:30～21:30 加茂文化センター

規模の予算

3月定例会は、2月29日から3月28日までの29日間の会期で開催した。同意7件・諮問1件・議案43件・発議3件を審議し、同意・可決した。

24年度一般会計予算

24年度一般会計当初予算は、合併後最大規模の予算となった。

増額の一番の理由は、

教育施設の整備による教育費の伸びであり、前年度に比べ28億3900万円（19・5％）増である。

収入では、市税の伸びが見込めないため、前年度より2億5800万円減となるが、交付税3億5千万円増額、公共施設基金4億円、財政調整基金6億2千万円を繰り入れている。

市の重点施策は、子ども医療費の助成拡大、小学校の新設、木津中学校の全面改築、防災対策の充実やクリーンセンターの施設計画などを予算に組み入れた。

討論

反対討論

①職員体制の弱体化が放置されたまま。

②容赦のない公共料金と保険料引き上げ。

③同和問題の解決と国民融合に真剣でない。

酒井 弘一

賛成討論

市税の増加が期待できない中、交付税等を的確に分析し、特定財源等を無駄にせず、効率的な予算であり、賛成。

高岡 伸行

賛成多数で可決

（賛成21人・反対2人）

住民票、コンビニでの交付が可能に

住民票と印鑑証明書をコンビニで取得できるようにするもの。

Q どのコンビニか。
A セブン・イレブン。

反対討論

個人情報漏洩の不安も残る中、早急・強引な採決は禍根を残す。生駒市もカードの発行枚数の伸びに對し、コンビニ利用が少ない現状であり反対。

西山幸千子

賛成討論

市民ニーズの把握と利用予測もない状況で、10年間で1億円以上の経費を要するコンビニ交付である。住基カードの問題や費用対効果に疑問。

呉羽 真弓

府下唯一、木津川市が、市外で働く市民などのためにコンビニ交付を実施することは、府下最も住みたいまちとして当然。

深山 國男

国が住基カード推進施策で進めているのは知っているが、漏洩問題など解決できていない。予算を使うなら公民館での取得を可能にする方がよい。

曾我千代子

住基カードで、コンビニにて住民票等取得できることは、限られた時間内に市役所等に行かなくてもよく、市民サービスの向上につながる。

伊藤紀味枝

賛成多数で可決

（賛成17人・反対4人・退席2人）

税条例の改正

東日本大震災の復興のため、改正するもの。

反対討論

大震災と原発事故による被災者への思いを共有する。しかし、課税者全員へ500円一律同額の課税は、税の本来のあり方ではない。反対。

酒井 弘一

賛成多数で可決

（賛成21人・反対2人）

合併後最大

指定管理が可能に

加茂文化センターを指定管理できるようにする。

西山幸千子

反対討論

加茂文化センターは公民館として建てられた。

市直営の教育施設として活用してもらいたい。

教育施設に経済効果を持ち込むことには反対。

曾我千代子

賛成多数で可決

(賛成19人・反対4人)

介護保険料の決定

24年から26年の3年間の介護保険料率の改定。

基金3億円を繰り入れ、基準額を4990円とするもの。低所得者に配慮し、14段階としたもの。

反対討論

今回の改定で市の努力は認めるが、国の「介護サービスの削減と利用料負担増を進める方針」は、

利用者が増えると保険料が上がる矛盾がある。

賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

水道会計予算

反対討論

12月議会で出された水道料金引き上げの願いや、木津地域が府営水の値下げも反映されず、激変緩和措置がとられないままの予算は問題だ。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

下水道会計予算に28億円

反対討論

市民の節水意識が高まる中で、使用料が思うほど伸びていない状態。財政のみを強調し、市民負担増を強制するやり

方は間違いだ。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

国保会計予算に63億円

24年度国保会計は、加入者増ではあるが、所得の伸びは見込めず63億円。

億円。



全面改築される木津中学校

反対討論

前回の間違った見通しで上げすぎた保険税により約2億円の黒字が出た。市民には一切還元せず、そのまま予算に組み込んだ事に反対。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

後期高齢者予算5億9千万円

広域連合で可決された保険料を元にした予算。

反対討論

今回の改定は均等割も引き上げるため、被保険者全員で保険料が上昇。制度そのものの誤りと被保険者の負担割合の上昇という現実を批判。

酒井 弘一

賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

議員提案

きつづ光科学館
ふおとんの継続を
求める意見書

クリーンセンターに
名称変更

山本ほか2人より提出。

清掃センター委員会より提出。

コスト削減と国の原子力政策の再検証の中、ふおとんも見直しを求められている。未来の子どもたちのためにも継続を求める。

Q 名称変更の意味は。
A 市民にわかりやすくするため。行政と統一する。

賛成多数で可決

(賛成22人・反対1人)

冷暖房費を値下げ

Q 以前より見直しが求められているが、行財政改革や費用対効果から考えるかどうか。

A 国が予算を大幅に削減する予定。この事業は費用対効果の対象ではないと考える。

Q 酒井ほか2人より提出。中央体育館の柔剣道場とトレーニング室の冷暖房費を1時間500円にするもの。

Q この時期に、原発の宣伝施設として残すのは問題ではないか。

A 光科学技術に親しむ体験施設であり、原子力とは別と考える。

Q 条例改正は、行政から出すべきでは。

A 基本はそうだが、市民のために必要であれば改正を提案する。

賛成多数で可決

(賛成19人・反対4人)

賛成多数で可決

(賛成22人・反対1人)

臨時会

1月25日に臨時会を開会。

条例の一部改正と一般会計補正予算を審議し、全員賛成で可決した。

内水排除ポンプを
購入

Q 木津合同樋門内水排除ポンプの完成はいつか。

A 台風シーズンまでには全てを完了したい。

Q 将来、施設としてこれだよいか。

A 今回のポンプ購入により1分間100トで暫定的に持つと判断している。抜本的な改革は国や府に強く要望する。

全員賛成で可決



開園された梅美台分園

ガーデンモールに
分園開く

Q 今回の分園で待機児童の解消はできるのか。
A できる見通しである。

全員賛成で可決

A 外遊びはどうするか。梅美台本園の園庭を使用する。

A 外階段は安全か。安全には配慮をする。

補正予算の主な事業

- ・梅美台保育園分園の開設 1 2 9 0 万円
- ・木津合同樋門内水排除ポンプ整備 1 億 2 4 1 5 万 3 千円

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載
賛成＝○ 反対＝× 退席＝△

(会派ごと)

議員名	会派名	議 案 名												
		第1回定例会												
		木津川市税条例の一部改正	木津川市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定	木津川市介護保険条例の一部改正	木津川市加茂文化センター条例の一部改正	平成24年度木津川市一般会計予算	平成24年度木津川市国民健康保険特別会計予算	平成24年度木津川市後期高齢者医療特別会計予算	平成24年度木津川市介護保険特別会計予算	平成24年度木津川市公共下水道事業特別会計予算	平成24年度木津川市水道事業会計予算	清掃センター建設特別委員会の名称変更に関する決議	木津川市体育施設条例の一部改正	きつづ光科学館ふおとんの継続を求める意見書
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉元 善宏	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河口 靖子	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
炭本 範子	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
七条 孝之	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西岡 政治	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中野 重高	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兎本 尚之	きづがわ	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長岡 一夫	きづがわ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西岡 努	きづがわ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高味 孝之	きづがわ	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
島野 均	公 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
酒井 弘一	共 産	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
西山幸千子	共 産	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
呉羽 真弓	無会派	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
曾我千代子	無会派	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
深山 國男	無会派	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
谷川 光男	無会派	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
片岡 廣	無会派	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※議長は採決に加わらない

さくら＝さくら会 民主＝民主改革クラブ きづがわ＝きづがわ未来クラブ 公明＝公明党 共産＝日本共産党木津川市議員団
無会派＝会派に属さない議員

重要施策のさらなる充実を

予算特別委員会

3月22日・23日・26日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。(委員長 七条 孝之・副委員長 兎本 尚之)
268億円の一般会計を審査し、賛成多数で可決した。

主 な 質 疑

議会・市長公室・総務部・出納部・支所・行政委員会の予算

Q どのような予算編成の協議をし、過去最大の予算になったのか。

A 財政課長 予算要求段階では更に膨らんだ要求だったが、最終の査定を経て決定。

Q 予算が増加した理由は、木津中学校や中央地区の小学校など学校関連や、子ども手当など、国の施策や人口の伸びが要因である。

Q 災害対策事業の内容

は。

A 危機管理室長 24年

から5カ年計画で、床マット・毛布・石油ストーブ・非常用トイレ等を、順次整備していきたい。今年度は、木津南中学校で実施。

Q 防災行政無線は、今後どのように進めていくのか。

A 危機管理室長 親局

を市役所の屋上に設置し、避難所となる小中学校などを中心に、市内65カ所に設置を考えている。

24年度で調査設計を行い、25年度から28年度にかけて整備を考えている。

生活環境部・

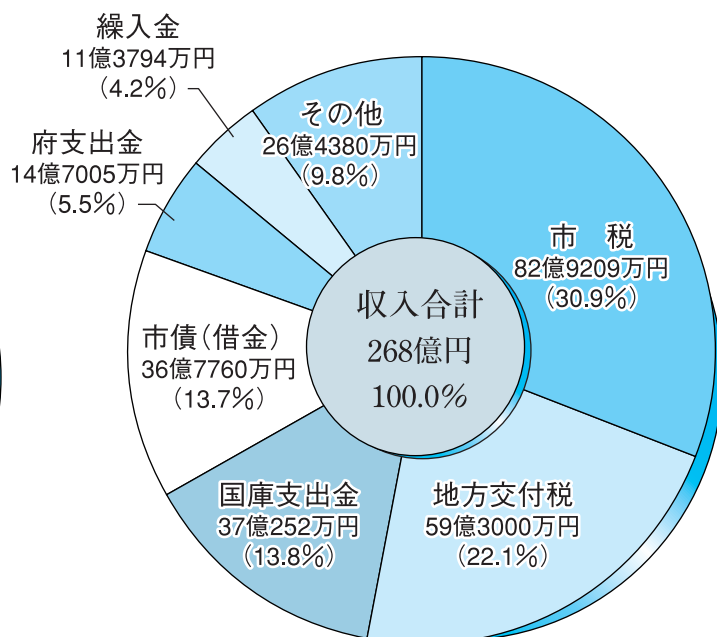
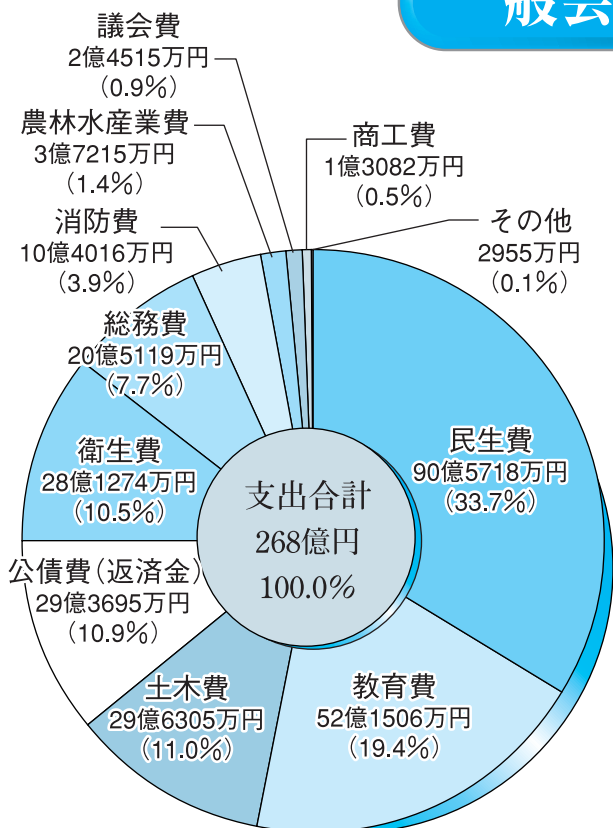
保健福祉部の予算

Q コンビニでの住民票等の交付に対する市の考えは。

A 7割近い市民が市外に就労し人口も増加している中で、住民の利便性の向上と城山台のまちなぎに勢いをつけていきたい。

住基カードを2年間無料交付し、カード普及の拡大と利用の促進により、人員削減とサービスの充実につながると考えている。

一般会計予算構成



(万円未満は切り捨てのため合計額と一致しません)

Q 生活保護受給者で最も多い年齢は。

A 社会福祉課長 65歳以上が32%を占めている。

Q クリーンセンター整備事業費の委託料は。

A 清掃センター推進室 28年度中の稼働を目指す。25年度中に敷地の造成にかかるための調査費等を見込んでいる。

建設部・上下水道部・教育部の予算

Q 職員に狩猟免許を取得させては。

A 農政課長 林業大学校研修課の2カ月コースに職員を参加させたい。

Q 木津山田川線の道路改良事業の詳細は。

24年度で終了か。

A 建設課長 境界が確定していないので、24年度予算は、補償費等、市役所から簡易裁判所前の歩道整備の工事費を計上している。

終了予定は26年度。

Q 木津中学校の改築は城山台の生徒数の増を見込んでいるか。また、将来推計等精査したものか。

A 教育部長 現在の12教室を26教室にするもの。今回の改築は、城山台の建築戸数に生徒数の発生率を算出し、26教室で対応できると考える。

Q ステップアップ学習の内容は。

A 教育部理事 中学2・3年生を対象に週1回2時間を目安に、講師による補習を実施。

Q 史跡周辺の用地取得事業の進捗は。

A 文化財保護室長 鹿背山瓦窯跡は、3年目で最終年度。地域活性化事業債を活用する。

◆ 地域福祉の充実

* 予防接種

(子宮頸がん予防ワクチン等の接種助成等)

1億9,181万円

* 相楽休日応急診療所の運営(新規) 826万円

◆ 子育て支援

* 子育て支援医療助成 2億3,163万円

◆ 教育施設の整備

* 新設小学校の用地費等 8億7,120万円

* 木津中学校の全面改築(設計) 2,070万円

* 恭仁小学校の耐震診断 1,126万円

◆ 安心・安全のまちづくり

* 防災行政無線の調査費 1,000万円

* 市ハザードマップの作成 720万円

◆ 生活環境づくり

* クリーンセンター整備 1億4,172万円

◆ 地域産業の振興

* 木津かんがい排水事業(最終年)

1億8,566万円

◆ 道路交通ネットワークの整備・充実

* 木津山田川線の道路改良 1億3,215万円

◆ 文化財の保全と活用・伝統的街並みや景観の保全と活用

* 木津城址公園建設 7億6,050万円

* 環の拠点の創出(新規) 26万円

一般会計予算の主な施策



山城町の防災行政無線



整備がまたれる椿井大塚山古墳

椿井大塚山古墳の 整備費を減額

補正予算特別委員会

3月12日、補正予算特別委員会を開会。5億5822万円を減額し、23年度予算額を248億8527万円とするもので、全員賛成で可決した。

主 な 質 疑

- Q** 椿井大塚山古墳の整備事業が今回の補正で減額された。理由は。
- A** 災害復興費の影響で補助金のカットされ、事業の執行を見送った。
- Q** 市税の徴収を地方税機構に移管した。成果は。
- A** 昨年の同時期に比べ、約360万円増で、着実に成果をあげている。
- Q** 市道、西垣外加茂線と内垣外内田山線の整備の状況は。
- A** 用地買収が進まないことにより、本年に繰り越す。
- Q** 市有バスが5台から3台になり不便だとの声を聞くが、問題は。
- A** これまでは旧町のやり方で運行していた。2台が廃車の時期を迎え、市で新しく運行要綱を作成し、3台で運行することとした。関係団体には連絡している。
- Q** 昨年断念した加茂町域の介護施設はどうするのか。
- A** 新規で4月より5月の中旬頃まで公募し、7月には決定する。

補正予算の主な事業

- 「農業体質強化基盤整備促進事業」 7,449万円
- 「木津かんがい排水事業」 1,706万円
- 「準用河川改修事業」 3,300万円
- 「基金積立金」
 - ・ 公共施設等整備基金元金積立金 3,214万円
 - ・ ふるさと応援基金元金積立金 48万円
 - ・ 地域福祉基金元金積立金 310万円

(万円未満の金額は切り捨て)

委員長 柴田はすみ
副委員長 酒井 弘一
委員 高岡 伸行
河川 靖子
伊藤 紀枝
倉 克伊

高岡 伸行
河川 靖子
伊藤 紀枝
倉 克伊

七条 孝之
西岡 政治
西岡 努
深山 國男
谷川 光男
高味 孝之

冷暖房費を 値下げ

総務文教委員会

3月7日に委員会を開会し、議案15件を審査した。

全議案可決

公民館、交流会館の
冷暖房費を値下げ

Q これまでの経緯は。
A 利用者等のアンケートや意見をもとに、運営部会で検討した。

Q 中央体育館のトレーニングルームの見直しは。
A 市全体の体育施設の見直しに合わせて検討する。

全員賛成で可決

自転車駐車場条例を
改正

Q 市民サービスの視点からすべて無料にすべきと考える。条例を統一すべき。
A 他市を参考にし、統一に向け検討する。

全員賛成で可決



指定管理ができる条例に改正（加茂文化センター）

旧加茂町の4財産区
の予算を審査

Q 道路維持事業の内容は。
A 市道・農道など、区民の作業による維持管理費である。

全員賛成で可決

加茂文化センターを
指定管理可能に

Q 昨年の事業仕分けの意見は。
A 直営と委託の意見があった。検討の結果、民間活力の導入で、幅広い事業展開ができると判断した。

全員賛成で可決

Q メリットは。
A 人件費などの経費が削減できる。

Q 公民館的要素が阻害されるのでは。
A される事はない。

賛成多数で可決

公民館運営審議会条
例の改正

Q 市内の公民館とは。東部交流会館の位置付けはどうか。
A 南加茂台、瓶原、当尾の3館。東部交流会館は旧木津町の中央公民館が解体された暫定処置として公民館的位置付け。

医療費 6 年生 まで助成拡大

厚生委員会

3月8日に委員会を開会し、議案14件を審査した。

全議案可決

医療費小学校6年生
まで助成を拡大

Q 9月からの実施とあるが、7月からできないか。

A 手続に時間を要するため、9月から実施する。

Q 自己負担はいくらか。
A 1医療機関200円／月が必要。

Q 議会で請願が採択されたことは、意義があったか。

A 意義はあった。

全員賛成で可決



健康が一番

児童デイサービス事業所条例の全部改正

Q 定員は何人で、指導員は何人か。

A 定員は50人で、指導員は6人。

全員賛成で可決

犯罪被害者等へ支援を

Q 見舞金の額は市独自で定めたのか。

A 全国の市町村の基準に合わせた。

Q 可決した後の周知は。広報等で行う。

全員賛成で可決

介護保険条例を改正

Q 一般会計からの繰り入れをして低所得者に免除を。

A 介護保険会計で実施するよう指導を受けているため、できない。

Q 3億円の基金の扱いは。

A 全額予算に入れて、保険料の上げ幅を抑えた。

反対討論

国の責任を果たさない介護保険のしくみに反対。

賛成多数で可決

住基カードの条例の制定

Q コンビニ交付事業の初期費用はいくらか。
A 3990万円。

自動交付機の廃止や住民への説明が不十分なため、継続審査となる。
3月19日、生駒市に視察に行き審査をした。

Q 住基カードの無料交付とコンビニ交付の手数料改正も併せた条例改正とすべき。

A できるだけ早く提案したい。

3月26日に委員会開会し審査した。

対案も出しているのに審査できないとの意見があったが、討論・採決の動議が出された。

退席2人
賛成多数で可決

国保会計予算を審査

Q 本年度国保財政は黒字になるか。

A このまま推移すれば黒字。基金にも入れる。

賛成多数で可決

水道会計の健全化をさらに

産業建設委員会

3月9日に委員会を開会し、議案9件を審査した。

全議案可決

の伸び。

引き続き木津、山城で下水道整備を進める。

Q 汚水処理構想で瓶原地域をどう進めるのか。

24年度中の解決を。

A 調整の時間が必要。

全員賛成で可決

24年度水道会計予算

収益的予算は15億54

61万円。

資本的収入約16億円、

支出約19億円。

宮ノ裏浄水場改良工事

の完成。城山台・木津南

地区などの水道建設整備。

21地区で管の敷設替えを進める。

24年度簡易水道会計予算

予算規模は2億348

8万円。配水池の新設な

どで前年比43%以上の伸び。

Q 料金改定時に約束した経営改善の実施計画が見えてこない。

A 計画を立て、市民の理解を求めよ。

全員賛成で可決

Q 管の敷設替えは、28

年度の水道の統一に間に合うか。どんな管か。

A 計画通り進める。管は耐震性があるポリ

エチレン製。

全員賛成で可決

他に、市営住宅管理条例の一部改正。水道会計剰余金の処分に関する条例。

23年度下水道会計予算の補正（2億3599万

円減額）。23年度水道会計予算の補正（収益的予算1639万円減額、資本的収入7791万円減額、資本的支出1億1204万円減額）の4議案があった。

全て全員賛成で可決

市道の路線の廃止

開発中の城山台に新たな道路を認定するため、同地区内の市道3路線を廃止する。

全員賛成で可決

市道の路線の認定

開発中の城山台関連で31路線、山城町上狛山神地内で4路線を新たに市道として認定するもの。

**退席2人
全員賛成で可決**

24年度下水道会計予算

Q 山城町の路線の中で、予算規模は28億1336万円。前年比21%以上



24年度完成予定の宮ノ裏浄水場

地元対応は万全か

清掃センター建設特別委員会

3月13日委員会開会。クリーンセンター建設の取り組み状況（生活環境影響調査、地質調査）について説明を受ける。

主 な 質 疑

Q 鹿背山区の理解が得られないのは何が一番の問題か。市と地元が一方通行になっているが。

や要望などを聞きながら努力する。

A 計画や経過は、区役員を通じて区民に報告している。

Q 鹿背山区から出された要望、意見は議会に提出を。

A 提出していく。

今後も引き続き、意見



環境アセス中の現地

Q 騒音調査での看板の表示がなかった。全てをオープンにして進めるべきだ。

A 配慮して調査を進める。

Q 調査結果で一部六価クロム・鉛の基準超えがあったが対策は。

府道の対応は。

A 除去対策は府と協議中である。

府道は市の主要道路として位置付けられていることから、府に要請する。

24年4月1日の組織改革に伴い、特別委員会の名称を、クリーンセンター建設特別委員会に変更する発議を可決した。

組合議会報告

副連合長に

木村要氏

（京都府地方税機構）

2月18日定例会を開会。副連合長に木村要氏を選任。

23年度補正予算は歳入・歳出それぞれ2億8205万円。

24年度一般会計予算20億2422万円。

職員定数条例改正があり、職員を217人に改めるもの。

全議案可決

新たに

休日診療始まる

（相楽郡広域事務組合）

2月20日定例会を開会。管理者から休日診療所の工事進捗は現在30%である報告を受ける。

24年度の一般会計予算



6月1日 相楽会館でスタート

は6億1500万円。主費で3億1194万円。歳入は分担金が4億9554万円、歳出は衛生

全議案可決

60周年

記念式典を開催

(山城病院組合)

2月17日定例会を開会
病院事業会計の24年度
予算、病院事業収益、病
院事業費用それぞれ61億
5385万円。

電子カルテシステムの
入れ替えや整備に4億5
千万円。

60周年記念式典のため
200万円。

介護老人保健会計の24
年度予算、施設事業収益
施設事業費用それぞれ5
億2391万円。

全議案可決

計画により

順次更新

(相楽中部消防組合)

2月24日定例会を開会。
23年度一般会計補正予
算、全国瞬時警報システ
ムの整備等。

24年度一般会計予算は
13億4820万円。

救助工作車、防災指令
車、和束出張所の耐震
診断、消防ポンプの更
新等。

全議案可決



訓練中の相楽中部消防

情報公開の

条例制定へ

(西部塵埃処理組合)

2月23日定例会を開会。
議員提案で全員協議会
を、議会活動と認めるも
の。

23年度補正予算は歳
入・歳出それぞれ281
0万円の減。

24年度一般会計予算4
億780万円。

情報公開条例制定・個
人情報保護条例と情報公
開・個人情報保護審査会
設置条例制定。

全議案可決

24年度予算確定へ

(加茂笠置組合)

2月15日定例会を開会。
23年度補正予算を審議。
歳入歳出それぞれ121
万円。

24年度予算を審議。歳
入歳出それぞれ2377
万円。

全議案可決



いつまでもお元気で

24年度、 保険料の値上げ

(府後期高齢者医療広域連合)

2月10日定例会を開会。
24年度後期高齢者医療
会計予算は2902億9
69万円。

24・25年度の保険料が
引き上げられ、年額約3
592円、月額約300
円の値上げとなる。

全議案可決

議会報告会を開催します

議会では、平成24年第1回議会報告会を次の日程で開催いたします。
今回は、5月26日（土）・27日（日）の2日間、市内5会場にて「議会だより（5月号）」をもとに、3月定例会の会議内容をご報告し、市民の皆さんとの意見交換を行います。

～ 皆様のご参加をお待ちしています。～

開催日時		会場
5月26日(土)	13：30～15：30	市役所（住民活動スペース）
	19：30～21：30	相楽台小学校（会議室）
		アスパアやましろ（視聴覚研修室）
5月27日(日)	13：30～15：30	関西光科学研究所多目的ホール棟（中ホール）
	19：30～21：30	加茂文化センター（研修室）

※ 事前の申し込みは不要です。

※ 問い合わせは議会事務局まで。TEL 0774-75-1240

「議会だより(平成23年度)」の発行状況についてお知らせします。

第16号（5月1日号）	・・・・・・	24ページ	26,700部（1部あたり28.7円）	766,851円
第17号（8月1日号）	・・・・・・	24ページ	27,400部（1部あたり25.2円）	691,055円
第18号（11月1日号）	・・・・・・	28ページ	27,600部（1部あたり29.4円）	812,019円
第19号（2月1日号）	・・・・・・	24ページ	27,400部（1部あたり25.2円）	691,055円

平成23年度「議会だより」発行経費総額 **2,960,980円**

西岡 政治
河口 靖子
炭本 範子
七条 孝之
中野 重高

Q 相楽中部消防署を中央地区に

A 近い場所に移転を検討中



西岡 政治

討する。

污水处理基本構想を問う

(質問) 22年3月、市汚

水処理施設整備基本構想(案)が示された。

以降3年が経過したが瓶原地域の理解が得られず、基本構想の決定に至っていない。

①瓶原との話し合いの状況と問題点は。

②市の処理方針は、公共下水道か合併浄化槽か。

また、合併浄化槽の場合は個人設置型か市町村設置型か。

③合併浄化槽を選択の場合、受皿として、用・排水路整備計画の策定を。

④統一する法的制約はない。加茂処理区域を切り離し基本構想をまとめてはどうか。

(市長・上下水道部長)

①公共下水道整備を望まれ、話し合いは平行線を

(質問) 市長は、施政方針で学研中央地区を市のエンジンとして、更なる飛躍を目指すとする。

①相楽中部消防署の中央地区への移転に向け協議検討を。

②京大農場の中央地区への誘致の取り組みを。

(市長) ①相楽中部消防署の移転は、中央地区に近い場所を検討中。

構成市町村で協議する。

②京大農場の誘致は、高槻市の方が決定次第、移転手続きに着手できるように準備をしたい。

自治基本条例の制定を

(質問) 市長は、「木津川

太陽光発電設置助成を

(質問) 東日本大震災等を教訓に「リスクコントロールに努める」とある

が、大震災の教訓は、防災対策の強化と原発を最大限減らし、代替エネルギーへの転換である。

太陽光発電設置助成を。

(市長) マニフェストで約束しており、任期中の実施に向け制度設計を検討する。

市に住みたい。住み続けたい。市民で良かった」と実感できるまちを目指すと約束した。

市民で良かったと実感できるまちとは、住民自治が確立されたまちであると考える。

自治基本条例の制定を。

(市長) 総合計画の基本計画見直しに併せ、市民意識調査を実施の上で、条例の必要性を含め検討する。



移転検討中の相楽中部消防署

たどっている。
②現時点では、合併処理浄化槽区域と考えている。直しすることも、今後検討していきたい。
③用・排水路整備計画の策定は考えていない。
④基本構想(案)を基に、旧3町の事業を個々に見直しすることも、今後検討していきたい。

幹
事

高味 孝之
兎本 尚之
長岡 一夫
西岡 努

Q 土地の有効利用で活性化を

A 委員会や新制度で前進していく



西岡 努

検討委員会を立ち上げ、有効利用を考えていく。

(質問) 木津駅東側の農地の市街化は。

(市長) 地権者と協議し、区画整理等で、土地利用を図る。

(質問) 木津駅東側と西

側の連絡道路は。

(建設部理事) JR木津駅前東線と市道西垣外加茂線を結ぶ新設道路は、相楽会館東側で、25年度完成に向け事業を進めている。

(質問) 学研木津南地区の研究所用地の誘致状況

と対策は。

(市長公室長) 誘致済み面積は50%である。企業誘致の助成は本年度で切れる。

新たに条例を制定して、誘致に向け努力していく。

(市長) 保育サービス・児童クラブの充実。学校の耐震改修。子どもの入

未来を担う子どもの教育

(質問) 「子育て支援策」の重点事業は。

(市長) 課外活動として、国際交流員の指導により、海外の生徒との文通で異文化交流を行う。

院外医療費助成の拡充。

(質問) ステップアップ学習とは。

(教育長) 個別指導により、基礎学力に欠ける、生徒の補習授業を行う。

(質問) ペンパル事業の進めかたは。

(教育長) 課外活動として、国際交流員の指導により、海外の生徒との文通で異文化交流を行う。

Q 災害時の要援護者支援制度は

A 避難支援プランを作成中



長岡 一夫

り組みと、日ごろの活動概要は。

(市長) 国が作成した「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」および、「避難支援プラン全体計画のモデル計画」をもとに、20年12月より市災害時要援護者の避難支援プランを作成中である。

(質問) 災害時、高齢者や障害者は、自分での避難が困難な状況に置かれる市の要援護者制度の取

今後の障害者福祉は

(質問) 障害者生活総合支援法は骨格提言を踏まえたものでなく、2年前の基本合意を無視する内容である。

福祉の窓口は、市である。基本合意を守るように、国に助言して行くべきだ。

(市長) 厚労省は、25年8月までに障害者自立支援法を廃止して、障害者生活総合支援法の制定を目指している。



企業誘致の推進を

Q 安全面に配慮した城山台の道路を

A UR・公安委員会で安全対策をする



島野 均

(質問) 本年春より城山台がまちびらきをする。

今後、市として重要な場所である。市民の幸福度に関しては新設の保育園、小学校建設と充実している。安全面では、交通事故に配慮した道路整備を。小学校前の横断歩道や主要幹線道路の信号機設置。住宅内道路でスピードを出させない工夫をURと協議し、住民に快適な環境と安全を提供している。

(市長) 横断歩道・信号機は、公安委員会に要望する。東中央線、木津中央歩行者専用道路では、

自転車と歩行者の通行区分を分離する。住宅内の街区道路は、歩行者用のラインを引く。道路の構造や安全対策は、UR・公安委員会等で協議し工事を進める。カーブミラー・啓発看板等は、周辺住民の同意を得て設置する。市民満足度の高い温かいまちを造る。

健全財政を

(質問) ①普通交付税の額が最終的に14億円減少となるが今後の対策は。

②事務事業評価システムを導入し、事務事業を見直し、わかりやすく説明を。③職員のレベルアップ・資質向上・意識改革で力を総結集し、人件費削減に努めては。

(市長) ①行財政改革を断行し、公的資金補償金

免除繰上償還制度を活用し削減を図る②22年から市のHPに事務事業評価の結果を公表し、今後事務事業の見直しに努める。③外部の力を借りて、職員の資質の向上を図る。民間でできる事は民間で進め、人件費削減も例外ではない。健全財政を維持する。

東日本大震災に支援を

(質問) 大震災で苦しんでいる人に対して、社会全体で心の復興、人生の復興を支援し、市として経済・精神的に長期にわたり支援を。

(市長) 市としては被災者相談・登録窓口を設け、各種情報を提供する。転入された被災児童に

などを支援する。メンタルケアも、担任・養護教諭・スクールカウンセラーを中心に行う。今後は、府災害支援対策本部と連携し対応する。



心の復興、人生の復興に支援を

Q 市長の施政方針を問う

A 値上げと負担増は市の未来のため



酒井 弘一

(質問) 市長は施政方針で、日本と世界の経済について「厳しい」と語った。

一方、市民のくらしや地域経済についてはまったく触れていない。4月から公共料金を値上げする。さらに後期高齢者医療と介護の保険料を引き上げる。

また、政府は消費税引き上げと社会保障の連続切り下げをしようとしている。

市民のくらしを支えるため、基礎自治体としての責任をどうはたすか。

(市長) 財政が悪化すれ

ば市民サービスは確実に低下する。将来のために痛みを分かち合って、持続可能な市政運営を進めることが、基礎自治体としての責任。

公共料金や保険料の値上げで市民の負担が増える中、市民の負担を軽くするため、子ども医療費の軽減を行う。

住宅リフォーム助成を

(質問) 施政方針の「産業・事業の創造」で、住宅リフォーム助成制度の創設を述べなかった。

昨年の6月から前進していないが、取り組みの現状と実現のめどは。

(市長) 現在、3商工会と制度の実現をめざして協議を重ねている。時期は明言できない。

市民の参画と協働を

(質問) 加茂と山城の支所機能の縮小に対し、市民から強い不安と不満が出されている。

加茂町瓶原の汚水処理問題は1年間まったく前進していない。「最大限の努力」という決意があったはずだ。地域住民全体の意思を確認する作業が必要だ。

まちづくりに市民の参画と協働を進めるため、「自治基本条例」を。住民参画のまちづくりの一例として、福島県飯館村の取り組みを紹介する。

(市長・上下水道部長)

「まちづくりへの参画と協働」は、一部地域の行政機能やサービスではなく、全市対象の取り組み。支所機能の縮小は、不便があっても、サービス

を全市民へ届けるため。瓶原問題は平行線のままだが、住民の意向調査は考える。自治基本条例は、総合計画の中間点となる25年めたい。



飯館村のまちづくりをまとめた本「までいの力」



高岡 伸行

Q 学研木津地区の開発は

A 企業誘致に向け努力

(質問) 木津中央地区のまちびらきを控え木津南・北・東・中央地区の街づくりは。

(市長) 南地区は熟成してきたが、宅地や学研施設用地に空地があり、今後企業誘致に努める。木津駅から見える中央地区は、景観が良くなるように努める。北地区はクリーンセンターを中心に学研ゾーンとし、東地区は田園調和

型の開発を誘導する。
(質問) 城山台の交通網と保育園等の子育て支援施設の建設計画は。
(市長) 都市計画道路を中心に整備。バス路線は協議を進めている。また、180人規模の保育園や小学校も26年4

月に開校をめざす。
(質問) 木津南中学校開校に伴い、木津中学校の部活動が継続困難となった。部活動の在り方を見直す考えは。

く、隣接する学校間で、部活動の選択制導入は。
(教育長) 部活動の存続が困難になったり生徒のニーズに対応しきれていない。希望に応えられるように教職員、保護者の意見も聞き検討する。



伊藤紀味枝

Q 予算編成における重要施策は

A 子育て支援No.1を柱に進める

(質問) ①小学校就学前の入院外医療助成を小学校卒業まで拡充とあるが、段階的拡充と言っていた

が、なぜ今なのか。②木津中学校は26年2月に全面改築を目指す、運動場が使えない時の体育授業等は。また、学校給食は生徒増に対応できるのか。③ハザードマップ(洪水編・地震編)の作製は3地域に分け、裏面に地域に応じた防災ガイ

(市長) ①府の補助制度が24年度に小学校卒業まで拡充となるため。
(教育長) ②中央体育館等の利用を協議中。27年度には調理能力の8500食を越える。総合的な検討を急ぐ。
(総務部長) ③3地域別でマップの裏面に防災ガイドを掲載。HPは全体的に調査し検討。
(市長) ④住基カードの必要性やコンビニ交付の利便性を周知していく。画像データに処理し専用の通信回線を使用、通信内容の暗号化をする。発行後、データは完全消去。
⑤茶間屋ストリートと自転車愛好者とコラボし発信。木津川アートは開催する。(他にペンパル制度など4点質問した。)



5月に供用開始が始まる城山台



地域の活性化を（上狛茶問屋ストリート）

茶問屋ストリートの整備を問う

環の拠点として整備

Q 環の拠点創出事業とは。

A 市長 サイクリング愛好家などと、地域との交流で健康づくりや交流人口の増加を目的とする。

Q 茶問屋街にふさわしい道路整備の検討は。

A 市長公室長 今後、準備会の段階で調査検討する。

Q このストリートは生業が現在に残るところに価値がある。文科省の「重要文化的景観」の指定に向け努力すべきだ。

A 市長公室長 市・地



民主改革クラブ
七条 孝之

域が思いを共有し進める。

Q この事業のように、職員の提案制度を進化させるべきだ。

A 市長公室長 実現に努力する。

空き家の適正管理を問う

Q 空き家の調査をどれくらいの頻度で行っ

ているのか。
A 生活環境部長 定期的なパトロールを行い、所有者に対し適正管理の要請を行っている。

Q 管理不十分な空き家は近隣住民にとって危険な個所と認識しているか。
A 生活環境部長 環境衛生・防災・防犯上、危害を及ぼす可能性が高いと認識している。

元気デ이의指導者を有資格者に

検討の方向で考えて行く

Q 高齢者福祉計画等の検証と見直しを。

A 保健福祉部長 介護予防を重視し、地域包括支援センターにおける相談体制の充実を図っていく。

Q 「元気デイ」がマンネリ化にならないために、有資格者による脳

トレで、運動機能を高めてもらう必要があるのでは。

A 保健福祉部長 女性センターに人材バンク登録があり、その人を登用したい。

Q より介護予防の効果を出せるように、送迎車を出すよりも、自ら



民主改革クラブ
河口 靖子

コミュニティバスを使って、来てもらうことも大切と思うが。

A 保健福祉部長 今後、市長公室長 提案のあったことを含めて、行政側からもアイデアを出し考

不動川公園の整備を

Q 市民運動会を何か所で行うためにも、不動川公園の駐車場整備拡充が必要では。

A 建設部理事 補助金にもよるが、拡充は難しい。

通学バス利用の無料化を

Q 銭司のバス通学児童保護者に経済支援を。

A 教育長 ご指摘の部分については、教育委員会で議論する。



元気デいでみんな楽しく



活躍中の女性消防団

Q ①防災会議に女性委員を登用すべきでは。②女性消防団員を積極的に登用しては。③避難所運営訓練に『ハグ』を取り入れては。④災害緊急物資の備蓄のこれからの予定は。⑤各市立学校に防災担当職員を配置しては。⑥避難所用に洋式ト

イレを増やすべきでは。**A 総務部長** ①考えはないが、男女共同参画条例や女性消防団員等からの意見を反映。②19人の女性が月一回の会議を元に活動している。③組織をもって、避難所開設の部署を定めるので、今は考えていない。④24

Q 市営住宅に入居でき年より床マットやストーブ・簡易トイレ・毛布・組立式テントなどを計画的に備蓄。⑤担当教員が防災教育を研修中。⑥多目的トイレのない学校を優先に設置。

ワード

ハグ (HUG)

災害時の避難所運営を図面上で模擬体験できるもの

女性の視点で防災対策の見直しを
女性の意見を反映させていく



公明党

柴田はすみ

る条件は、市内在住2人の保証人が必要。厳しすぎるのでは。

A 建設部長 審議会等を通して、パブリックコメントを見ながら検討する。

中学生の武道必修化への対応は

初心者安全確保が第一

Q 今年から男女とも授業で武道が始まる。特に柔道は各地で死亡事故の報告もあり、関係者の不安も大きい。

危険性を認知し、頭部の損傷を防ぐ事が重要ではないか。

A 教育長・教育部理事

教員を実技講習会に参加させる。受け身の徹底が重要だ。再度、安全面の配慮と緊急時の初期対応を周知指導する。

待機児童対策の状況は

Q 24年に分園の開設と26年に城山台の民間保育園の開園だけでは、

対策が不十分。

国の新システムは問題点が多い。市の責任で根本解決を目指せ。



日本共産党

西山幸千子

A 市長・保健福祉部長 待機は12人、一時預かりも案内する。市独自では国の補助金が出ない。引き続き努力する。

Q 加茂町里区の浸水被害対策のその後は。②広域避難場所も浸水の恐れがあるが、具体的な対応は。

A 建設部長 ①須田川の流下能力を高める川床の工事、取水樋門の改修を予定。

総務部長 ②地域防災計画で、地震・水害の避難所を区分けし地図にする。



2学期からスタート (木津南中学校武道場)



地域住民の大切な足（JR奈良線）

JR奈良線の複線化に向けて

第2期以降も完全複線化に努める

Q JR・府・沿線市町の合意で、第2期高速複線化の事業実施に向け、24年度より調査が開始。市内への事業効果は。また、上狛駅の入口の改修は。

A **市長・市長公室理事** 調査区間が事業区間と確認。第2期工事

完全複線化への大きな一歩と捉える。地元の要望も含め利便性の向上にむけ、要望活動を継続する。木津川右岸宇治木津線の早期実現に向けては。

A **建設部長** 都市計画マスタープラン等で位置付け、促進協議会で

要望活動を実施。東中央線からの重要性を考え、基幹道路として市の発展に貢献を期待。

Q 木津幼稚園の園庭拡幅を木津城址公園の完成に向け以下のことを問う。①山肌がむき出し、防災の観点からも危険。



さくら会

倉 克伊

②グラウンド等の体育施設の料金統一が必要。③使用開始に併せ木津幼稚園の拡幅をしては。

A **市長・教育長・建設部長** ①完成時に法面保護と近傍樹種やサクラを植栽。②この公園の完成までに統一に向け検討する。③園庭の拡幅は、現時点では考えていない。今後、隣接テニスコートの利用状況の見極め必要。

年収2百万円の若者を救え

国の問題でもあり、国に従う

Q 日本の給与所得者4800万人の内、非正規雇用は1700万人であり、その内20歳代の若者が35パーセントを占め、年収は200万円以下である。

市が、待機児童の解消を目指すのも大切だが、市の将来を背負う若者の雇用のあり方が問われている。

生活保護者並みで結婚

できず子どももつれない。

A **市長** 大変憂慮をしている。しかし、国全体で若者を支えて行くことでもあ

り、市はそうではな



深山 國男

民間との競合を避けよ

Q 加茂文化センターで行われている教育講座は、全国の多くで行われているが、教育講座と民間事業者との競合を戒めている。

A **教育部長** 指摘はごく、窓口の対応など問題があるようだ。もっともであり、来年、文化センターが指定管理者制度に代わるのを契機に見直す必要がある。



文化教室講座のあり方は



瓶原の汚水処理は

持続可能な財政運営を

行財政改革等を実行していく

Q 地方債の金利は固定制か変動制か。

A 総務部長 地方債の資金調達方法は、政府系の公的資金と銀行等の民間資金の大きく2つの方法がある。公的資金は固定金利と5年ごとか10年ごとの利率見直し方式があり、民間資金は10年利率見直し

方式である。

Q 低金利への借りかえ、また債務の繰上げ返済は検討しているのか。

A 総務部長 公的資金補償金免除繰上償還制度を活用することで、利子削減対策費約860万円を見込んでいます。

適正な市営住宅管理は



さくら会
山本 和延

Q 市営住宅の滞納状況は。

A 建設部長 24年2月末時点で、38名の滞納者。

Q 滞納者に対しては。

A 建設部長 滞納者宅を訪問。14件の分納

の誓約をした。

Q 滞納者への対策は。

A 建設部長 戸別訪問を重点的にし、督促や分納の協議を進め、連帯保証人も視野に入れ徴収を検討する。

また、明け渡し請求等、対策を検討する。

Q 今後の市営住宅の方向性・方針は。

A 市長 24年度前半にストック計画をまとめる。

観光協会への更なる支援を

互いに協力し事業を進める

Q ゼロからの出発で素晴らしい運営をされている。市が求める観光協会は。

A 生活環境部長 特産品の開発と販売など収益事業で運営出来るよう、支援育成をおこない、職員相互で活動を進める。

Q 観光拠点等、観光協会が事業をしやすい環境を作るのは市の責任だ。

A 市長 財政に併せ、国や府と協力しながら進める。

介護保険料の還元を

Q 府は今年度、プレミアム商品券（介護保



民主改革クラブ
炭本 範子

険料返戻地域活性化事業）を交付する。

3億円の基金は高齢者が支払った保険料で、8割以上の人は掛け捨てである。元気な人にご褒美としてプレミアム商品券を。

A 保健福祉部長 府のような対応は考えていない。

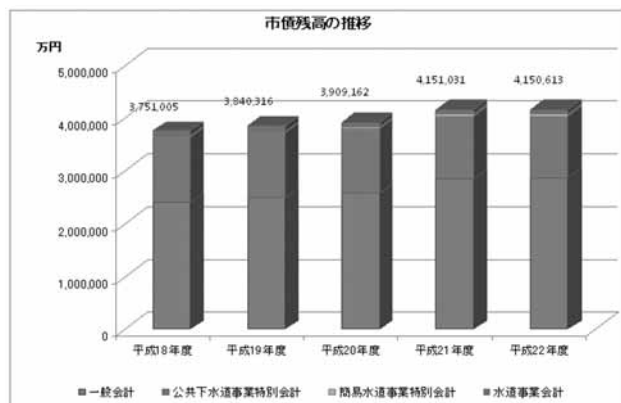
農業は水が命

Q 瓶原住民にどう対応してきたか。

A 上下水道部長 話し合いは平行線、必要に応じて進めていきたい。

Q 一定の線引きをし、理由後は後づけ。現状を調査し、どの手法がよいか、胸を張って説明せよ。

A 市長 雑排水をそのまま放流することは避けた。



地方債の有利な活用を



コミュニティバスの役割は

経済発展の鍵は女性の社会進出だ

環境整備に尽くしたい



曾我千代子

Q 女性の社会進出が進まない国は、経済が行き詰まっていると経済学者が指摘している。

女性が働ける社会にするには、男性の働き方も変える必要がある。

力する。

市長公室長 長時間労働や休日勤務を抑制し、地域活動に参加できるようにしたい。

コミバスをもっと便利に

A 市長 育児休暇など取りやすい環境に努

Q 乗客の少ない加茂地区のコミバスをデマンドにする計画もあると

A 市長公室長 尻枝と大畑には、在所の中に入るようルート変更した。1日乗車券も作る。

木津までの運行計画はない。
住民は望んでいる

Q ①要望の出ている井平尾地区を瓶原の合併浄化槽モデル地区にし、排水路の整備をすべき。

②南加茂台公民館で証明書が取れるようにすべき。

A 市長 ①モデル地区にすることがまとまればありがたい。②コンビニで証明書が取れるようにする。

生徒への影響を最少限に

改築工事による影響少なく

Q 在学がいるなかで改築工事となる事から、生徒への影響が最小限となるように工法を検討すべき。

響を極力少なくすることと考えている。

4棟ある校舎を1棟にまとめる努力をした。

城山台地域の生徒を木

具体的にどのような方策を検討したのか。

A 教育長 最も留意すべきことは、生徒の安全の配慮と授業への影

津中学で受け入れるためURによる立替施行が実施可能となり、最も工期を短縮できる方策と考えた。



さくら会
吉元 善宏

自転車通学の安全対策は

Q 木津川台地域の校区が木津第二中学に変更され3年が経過した。

京奈和道路下の防犯灯設置は、議会で質問や提案があった。

現在の状況は。

A 教育長 防犯灯設置だけでは安全の確保は困難であると判断。

暗くなる前に帰宅できるように季節ごとに、細分化した最終下校時刻を設定。

保護者や教職員で協議を重ね生徒にも徹底し、保護者にも指導を依頼。



自転車通学の安全対策は



人事評価制度導入でサービス向上

Q 市の人材育成制度は、「人事考課を導入し、より適正な勤務成績の評価を行い、職員の育成を図り能力向上に努める」とある。監査委員からも「地方公務員法40条の趣旨を尊重し、評価制度を形骸化させることなく早期に施行されたい」とある。

A 市長公室長 ①評価者訓練、一般職員への制度研修等を行い、信頼関係が損なわれないよう進める。

Q 第2期工事は市の負担金を含め、約400億円の事業費であり、城山台のまちびらきが始まる。

A 市長 ①効果が高い順に整備される。全線複線化に向け努力する。②利用者状況に応じて整備される。また、毎年1回、JRへの個別案件で要望活動をしている。

②24年度には課題整理を行い、早期に実施する。

町で取り組んできたが、なぜ上粕駅まで複線区間に入っていないのか。②上粕駅舎の老朽化が進んでいる。調査区間に入るべきでは。

人事評価制度の早期確立を 課題整理を行い、早期に実施する



民主改革クラブ
中野 重高

遊休地から活きた土地活用を望む

高度利用を図るため

Q 学研遊休地内の相楽台1丁目約5000坪用地は、16年3月に譲渡契約がURと徳洲会で交された。

A 建設部理事 当該用地はURが買戻権を行

使、3月中に「新所有権移転登記」が完了の報告を受けている。商業地域の施設用地として活用を考える。

Q 学研地域の企業誘致は進んでいるのか。府やURに頼り切りではないのか。

A 上下水道部長 浄水・配水施設・管路の更新を進める。30年まで事業費44億1500万円の財源を予定し、財政状況



片岡 廣

府やURと連携し、誘致活動を進めている。水道ビジョンを策定

水道施設の老朽化に伴う更新計画と実施は。

を見据えて進めていく。配水池の耐震補強の実施は。



活きた土地活用が望まれる遊休地



授業での読み聞かせ

子育て支援No.1の定義とは

市を健全な状態で引き継ぐ

Q 子育て支援の期間は。

A 市長 特定事業は乳児から小学生まで。

特定事業以外は定めていない。

Q 子育て支援の線引きは。

A 市長 市では子育て

家庭に対して、きめ細やかな子育て支援サービス・保育サービスを効果的に提供するため、各関係機関と連携を図りながら、地域における子育て支援サービス等のネットワーク化を図っている。

Q 子育て支援の定義・No.1の定義は。

A 市長 明日を担う子どもたちに、市を健全な状態で引き継がなければならぬと考えている。若い世代が市に魅力を感じ、住み続けていくためにも、子育て支援に対する総合的な施策を推進することが重要。



きづがわ未来クラブ
兎本 尚之

任意予防接種の助成を

Q 生ポリオワクチンよりも不活化ポリオワクチンを望む傾向があり、おたふく風邪や水ぼうそうの任意接種も受ける傾向がある。任意予防接種に対して助成の検討を。

A 保健福祉部長 国の今後の動向を踏まえて、検討していきたいと考えている。



ちょっとがまんしてね

入札改革の確認と提案をする

今後とも研究しながら進めたい

Q ①電子入札の導入は。仕様書など電子データでの呈示と保存を。②国は予定価格の事前公表をやめるが、市は。③ごみ収集の積算の経費率は高すぎ。適正に積算せよ。④随意契約の公表が偏っている。すべてを公表せよ。

A 副市長・建設部長 生活環境部長 ①水道分も含め、25年より実施する。府と同じくする。②今は公表。随時検討する。③積算に苦慮。最善と考えていない。研究する。④公表に向け勉強する。学校図書館の充実を

Q ①図書達成状況と今後は。②特色である

A 教育部署 ①未達成校は、15校。重点的に予算配分する。②検討したい。



呉羽 真弓

査から見える、住民の現況の認識は。

A 市長公室長・総務部長 ①22年度は502人。30億8000万円。②非常に厳しい。

Q 選挙公営費は前回と比較、どうなったか。上限額を見直すべき。

A 選挙管理委員会事務局 局長 615万円の減。選挙管理委員会が検討する事項である。

官から民への問題点と可能性は

計画書を作った以上進めていく



きづがわ未来クラブ
高味 孝之

Q 市長は事務事業の大胆な見直しを表明し、昨年9月に「待機児童の解消対策ガイドライン」を策定。その中で、公設公営方式で運営の保育園を可能な園から順次、民設民営方式に移行を進めることを明記している。メリット・デメリットは。

A 保健福祉部長 運営方式の異なる園がそれぞれの特性を発揮し全体の向上が図れる。行政改革にもつながる。
Q 可能な園から順次、民営に移行とあるがどの園から進めるのか。
A 保健福祉部長 統廃合による機能集約・強化を念頭に、利便性、

地域性を総合的に判断し決めていく。
Q すべての園を民営化するのか。
A 保健福祉部長 全保育園を民営化する考えはない。
Q 保護者から、民間に移ることに心配の声がある。その対応は。
A 保健福祉部長 移行

際には、丁寧な説明と十分な引き継ぎを心がけていく。
Q 早期にタイムテーブルを策定し議論すべき。
A 保健福祉部長 早い時期にたたき台をつくる。
Q 公立幼稚園の民営化は。
A 教育長 考えていない。

ワード
タイム
テーブル
計画表



移行には十分な議論が必要

「地方議会人」に掲載される

広報編集委員会

議会だより(平成23年5月1日号)が議員研修誌「地方議会人」に掲載され高評価を受けた。

「地方議会人」1月号に広報コンサルタント深沢徹氏のクリニックコーナーで本市「議会だより」が掲載された。

市議会広報は、住民の知る権利、議会の知らせる義務を踏まえ、読者の目線で、「ありのままに」「分かりやすく」「住民と確保し、審議内容を分か

りやすく丁寧に書いている点が評価された。

また、議決結果は議員

別の賛否を一覧表で公開

し、紙面レイアウトもゆ

とりがあり、読みやすい

など、内容、技術とも第

一級の議会広報との評価

を得た。



「地方議会人」1月号

わたしの意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。(220字以内)



藤山 愛さん
(山城町綺田)

主婦(女性)からの発信

本津川市民に「ごみ収集日お知らせメール」のサービスがどれほど浸透しているでしょう。
このような便利な情報があふれる現代、どれが自分

にとって必要な物かを理解し、使いこなすために私は今、主婦(女性)仲間と共に分かりやすく発信する活動をしております。
今後、この女性ならではの感性で町おこしにつなげていくことを目標に、私たち仲間は時代に沿った方法で『食育×特産物』『花育×環境』『教育×IT』を日々勉強し発信しております。

お知らせ

6月定例会は6月8日(金)からはじまります。

編集後記

五月晴れの空に鯉のぼりが悠々と舞い踊るこの頃、議会だより20号を発行することができました。

8人のメンバーは一致団結して読みやすい紙面にするために奮闘しております。今回の内容は会派代表質問、24年度の予算など盛りだくさんです。

また、議決賛否表は皆さんから好評を得ており、議員各自が身を引き締めて議論していかねければならないと考えているところです。ますます市民の声を反映できる議会を目指してまいります。

(河口靖子)

広報編集委員会

委員長 高味孝之
副委員長 呉羽真弓
委員 高岡伸行
河本靖子
河本尚之
柴田はすみ
西山幸子
片岡廣



畑山 玲子さん
(加茂町北船屋)

その瞬間を大切に

私には3人の子どもがいます。子どもとの時間を大切にしたいと思う反面、忙しいの中で言ってしまうこの言葉。「ちよっと待って」子どもが何かを伝えよう

としているその瞬間にこそ意味があるのに、私は自分の用事を優先させてしまう。前に友人にこの話をする時、その友人が素晴らしい言葉をくれました。
「綺麗に片付いた台所よりも、洗いかけの食器が残された台所の方が美しい」
ちよっと待つのは私の方。食器の泡がはじく頃、子どもたちの笑顔もはじけますように。



泉 壽夫さん
(兜台)

声をかけよう

私は散歩や駅で電車を待っているとき、相手が老若男女、国籍問わずに、声をかけている。なぜなら頭の体操になり、脳の老化を防ぐからだ。
また、人との距離を近づ

け、交流を深め、絆を強めるからだ。
現代社会は、高齢者の孤独死、若者も孤立感にさいなまれている。社会が病んでいる証拠だ。絆が強ければ悲しい事件が避けられたかもしれない。向こう三軒両隣、まずは町内の人々と声を掛け合おう。新しい交流が深まり、悩みが解決するのでは。
今日から、声をかけよう。